



も り 北の森林 国有林

写真：トムラウシ山のチングルマ

今月のトピック

- ・平成30年度国有林モニター会議の開催

8

平成30年
No. 32



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

平成30年度国有林モニター会議の開催

企画課

北海道森林管理局では、

国有林野の管理・経営に国民の皆さまの意見・要望を活かすことにより、開かれた「国民の森林」にふさわしい管理・経営を行うことを目的として、一般の方から国有林モニターを公募しています。モニターの方には、2年間の任期の間に国有林野事業についての理解を深めていただくため、国有林についての情報提供やイベントの案内等を行うとともに、アンケートへの協力やモニター会議への出席などをお願いしています。

平成30・31年度モニター

現在は、平成30年4月から平成32年3月までの2年間、道内にお住まいの48名の方にモニターをお願いしています。モニターの性別・年齢構成は、図1のとおりです。東は根室市、北は稚内市、南は江差町まで道の30市町村にお住まいの方で、平均年齢は55歳、年齢層は20代から70代まで幅広く、様々な職業の皆さまです。このように、立場も経験も異なる皆さまから多様な意見をいただきたいと考えています。

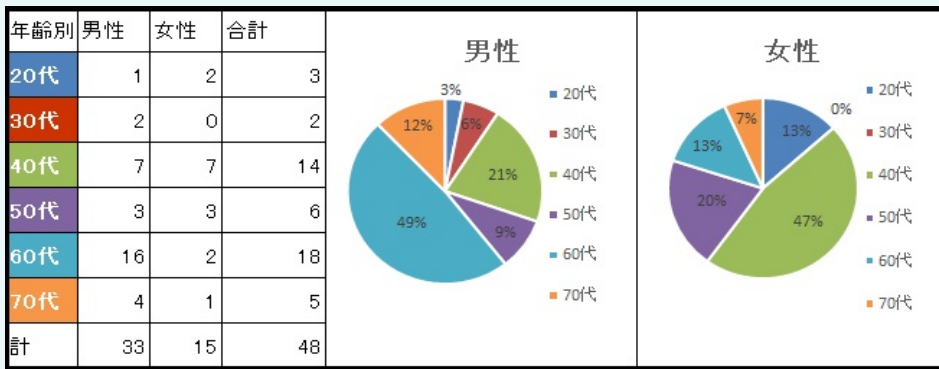


図1 平成30・31年度国有林モニターの構成

第一回アンケート結果

5月に国有林モニターの皆さまに対してアンケートを実施しました。

「北海道の森林」、「北海道森林管理局」、「国有林モニター」について質問し、モニターの皆さまから回答をいただきました。回答や自由記述欄の記入からモニターの皆さまが森林・林業の様々な面で関心が高いことを感じました。その一方で、森林管理局・森林管理署が開催したイベントに参加したことがない方が回答者の6割をこえるなど取組に対する課題も知ることができました。

図2はモニターの皆さまが森林・林業で興味

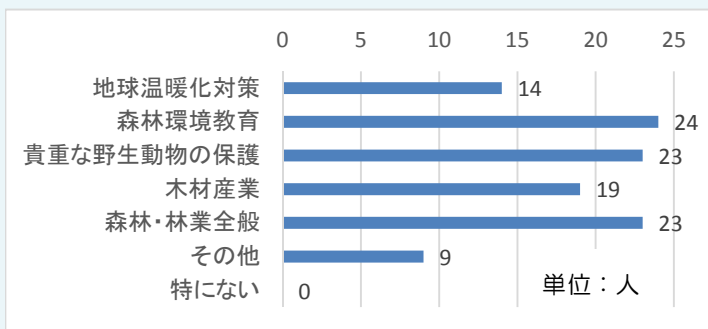


図2 森林・林業で興味を持っている内容

を持っていない内容です。アンケート結果の詳細は北海道森林管理局のホームページに掲載しています（URLは次のページの下に記載）。

国有林モニター会議

平成30年7月7日に開催した国有林モニター会議には、32名の方にご参加いただきました。

はじめに新島北海道森林管理局長から、国土を守ることをはじめとした様々な機能を持つ森林の環境財としての価値や森林・林業の課題に国有林がどのように取り組んでいるか等の説明を行った上で、2年間のモニター



新島森林管理局長の挨拶

期間を通じて、森林の様々な面に興味を持っていただくとともに、忌憚のないご意見、ご提言をいただきたいと挨拶がありました。

続いて、中西総務企画部長が、「北海道の国有林」の概要と今年度の重点取組事項について説明しました。

その後、モニターの皆さまから、応募した動機や、森林・林業や北海道森林管理局について、興味を持っていることなどを織り交せて自己紹介をしていただきました。

市町村の広報誌でモニターの募集を知ったことが応募動機となった方が多く、ご自身や身近な方



モニター会議会場



モニターからの自己紹介

が森林を相続して今後どのように維持管理すべきか検討している方、森林全般、山登り等に関心がある方、海外での経験やカーボンカウンセラーなどの勉強をした方など多種多様な場面で、森林に関わったり、国有林に関心を持たれていることがうかがわれました。

その後、「女性の林業労働力の活用」、「違法伐採への対策」、「木材の有効的な利用方策」などについて、意見交換

が行われました。

会議に出席いただいたモニターの皆さまに、事後アンケートをお願いしたところ、日本の森林・林業の状況が理解できた、北海道森林管理局の今後の方向性や重点が理解できた等の感想をいただきました。

今後の予定

今年度は、秋に現地見学会を開催し、現場で国有林の事業や、森林・林業の様子をご覧いただき、より一層国有林に対する理解を深めていただく予定です。

また、広報誌等の情報をお届けしながら、北海道内や国内の森林・林業のおかれている状況や課題について、国有林モニターの皆さまと情報を共有するなかで、ご意見をいただきたいと考えています。



昨年の現地見学会で見学した治山ダム
(苫小牧市)

平成30年度
国有林モニターアンケート結果に
ついてはこちら
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/tyousei/180604.html>

地域課題の解決に向けた取組

エゾシカ被害対策や林業における低コスト作業等の普及の促進

根釧東部森林管理署

はじめに

当署は我が国最東端に位置する森林管理署です。知床半島の南面側から根室半島までの根室振興局管内1市4町（根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町）を管轄しています。根室振興局管内は、漁業と酪農が基幹産業であり、森林の公益的機能に係る期待はとても大きいです。一方、この管内では、農林水産業に大きな被害をもたらしているエゾシカへの対策が課題となっているほか、市町の林務担当職員が林業知識を効率的に得られる機会を増やしていくことが求められています。これらの課題解決に向けた取り組みについて紹介します。

エゾシカ被害対策の推進

地域の課題の一つであるエゾシカ対策については、「根室市鳥獣被害防止

対策協議会」に参画する一方で、自らも「根室市国有林内エゾシカ対策協議会」を主催し、そこでの情報交換や意見を基に、囲いワナ等を活用して平成26年度から平成29年度までに430頭のエゾシカを捕獲するなど、エゾシカによる農林水産業被害の減少を図っており、引き続き対策に取り組んで行く考えです。



囲いワナによる捕獲状況

今年度からの新たな取組

また、市町においては多くの場合、林業を専門として採用された職員はおらず、林業に関する知

識を持たないまま林務担当となられる職員もいる状況から、今年度からの新たな取り組みとして、地域の林務担当職員の林業知識向上のお手伝いを根室振興局森林室と協力して行うため、準備を進めています。



ハーベスターによる伐倒・造材

具体的には、地域の林務担当職員（特に新任の担当者）の方に当署管内で実施している伐採から造林（地拵え（じごしらえ））までの一貫作業の現場等を活用した現地検討会に参加していただき、高性能林業機械による生産や大型機械による地拵え、コンテナ苗の植栽等の「低コスト作業等」の様

子を見てもらいながら意見交換を行うこと等を通じて林業知識向上を図っていただき、地域の林業に「低コスト作業等」が普及・定着していくように取り組んでいきたいと考えています。

併せて、新しいツール（ドローン、GPS等）の森林管理・経営における活用方法についても、市町の林務担当職員や林業事業者と一緒に勉強会を実施し、意見交換や情報提供等を通じて、地域林業の更なる技術向上に向けて取り組んでいきたいと考えています。



ドローン撮影による風倒被害の把握

こんにちは 森林官です!

網走西部森林管理署
丸瀬布森林事務所
首席森林官 太田 康弘



前列中央が本人

森林事務所概要

丸瀬布森林事務所は、オホーツク総合振興局管内中部に位置する遠軽町丸瀬布にあり、管理面積は金山担当区4,485.65ha、丸瀬布担当区5,418.42ha、武利担当区15,278.57ha、合計25,184.64haにも及び広大な国有林を管理しています。

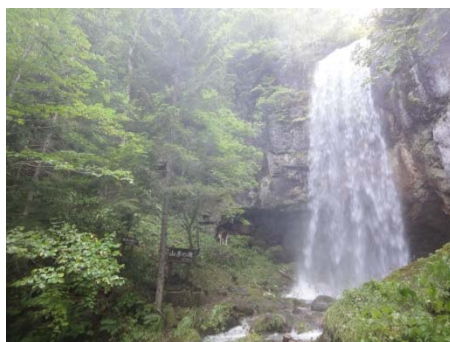
丸瀬布の観光資源

ここ丸瀬布町は、観光資源も豊富で「森林公園・いこいの森」には動態保存として北海道遺産や近代化産業遺産に指定された「森林鉄道蒸気機関車・雨宮21号」が4月から10月まで土・日・祝日限定で運行されており、(夏休み期間中は毎日)



森林鉄道蒸気機関車・雨宮21号

この広報に使うための写真撮影がてら乗ってみました。小さいながらもかなりの迫力でした。ぜひお近くにお越しの際には乗車してみてください。いこいの森にはこの他にもキャンプ場や温泉施設、タレントの哀川翔さんでおなじみの昆虫生態館など数多くの施設があります。



大迫力 山彦の滝

さらに丸瀬布町には道内では数少ない滝の裏側に回ることの出来る『山彦の滝』や大雪山の北東部にある標高1,876.2mを誇る雄峰『武利岳』が聳え立っています。この武利岳に向かう登山道は丸瀬布側と北見市留辺蘆町からの2箇所ありますが、丸瀬布側の道は4年前より通行止め、留辺蘆側も2年前の台

風により大規模林道が崩壊しており現在は登山が出来ない状況であり早期の復旧が待たれます。

森林での業務

当事務所では北海道森林管理局と連携して、『網走西部署管内におけるドイツトウヒコンテナ苗外の調査等について』の事業地として試験林を設置しました。

この事業は、これから迎える主伐期に備え、効率的な低コスト・省力化のための森林の再生に向け取り組むことを目的としています。



コンテナ苗の調査中

コンテナ苗の調査は育苗期間が短く、初期成長が早いドイツトウヒに着目し、ドイツトウヒ、クリーンフーチ、ト

ドマツの裸苗とコンテナ苗をそれぞれのブロックに植栽し、今後はこれらの活着率・成長量を調査してドイツトウヒの特性を明らかにしていきます。さらにドマツの夏期の植栽を8月1日～15日の間に実施し、成長経過等の調査を行います。

最後に

4月1日に赴任してきて4ヶ月が経過しようとしております。当初は、全森林官が異動となり、業務引継書に書ききれないローカルルールに戸惑いましたが、職員一丸となって仕事を進めてきました。

また、丸瀬布は北大雪山系近くのためか山の傾斜が急で定年を間近に控えた老体にとっては厳しい労働環境ですが、二晩くらい徹夜してもへこたれない若い森林官、体力無尽蔵の係員の協力や、時には長年の経験で丸瀬布の隅の隅まで熟知している非常勤職員の助言の下、何とかこなしている状況です。

これからも、文字通りの職員一丸となって、広大な国有林の管理に努めていきます。



子どもたちへ絵本の読み聞かせボランティア

●ボランティア活動施設
この施設は、次の2つの目的をもとに一般に向けて広く開放しており、観光客の方や地元住民の方が利用されています。
(1) 知床世界自然遺産の森林に関する情報提供
(2) ボランティア活動の場を提供
無料で貸切りもっており、ボランティア活動

斜里郡斜里町ウトロに位置する知床森林生態系保全センターには庁舎内や周辺に3つの施設があります。今回は、これらの施設の活用状況を紹介いたします。

世界自然遺産の管理については単独の機関のみで解決・遂行できることは少なく、このような関係機関との連携が重要に



知床ヒグマ対策連絡会議

●会議室
センター庁舎内にある会議室は、主に環境省や北海道、斜里町、知床財団など関係機関との会議や打合せの場に使われています。

やイベントが行われています。その中でも絵本の読み聞かせや、木育を目的とした遊びのイベントなど子ども向けの内容が多い傾向にあります。

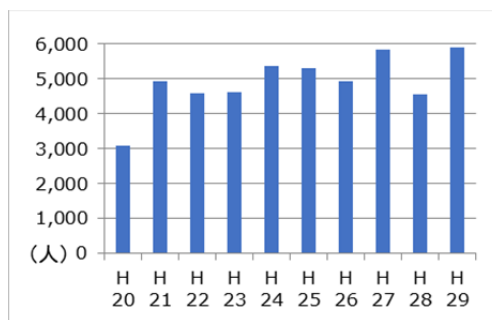
近年の野営場の利用者数は年間約6千人(下図参照)で、台風などの影響で多少の増減はあるものの、近年のアウトドアブームの影響が増加傾向にあります。比較的道外客の割合が高く、夏休み期間はファミリー層を中心に連泊される方が多くなります。
以上のように当センターでは、付属施設を地元

●国設知床野営場
当野営場は、網走南部森林管理署の管轄内の敷地で、知床斜里町観光協会によって運営されています。キャンプ場は6月から9月末まで開設しており、冬期にはイベント「知床流水フェス」も行われます。

なってきました。そのほか、我々の業務内だけではなく、知床で活動するガイドさんや知床に関係する団体の会議や研修の場としても使われています。



国設知床野営場



図：知床野営場利用者数（10年間）
※H20～H23は6月20日～9月20日まで開設
H23～H29は6月1日～9月30日まで開設

住民や観光客の方にも利用していただくことで有効活用されています。これからも地域に根ざした拠点となるよう日々努めていきます。



各地からの便り

詳細は

森もりスクエア

検索



沼田町「いこいの広場」で木工体験

平成30年7月27日(金)、沼田町で開催された「第44回いこいの広場」において、「バードテーブルを作ってみよう!」というブースで木工体験を開催しました。当日は30度を超える暑さの中、沼田町役場の職員、空知総合振興局森林室砂川事務所、地元在住の指導林家の皆さんにお手伝いいただき、子供たちに金槌の使い方を指導し、バードテーブルを作りました。今後も地域と連携し、子供たちと木に触れる機会を通じて木育推進の一助となれるよう取り組みを進めていきます。(北空知支署)



カルチャーナイト2018

平成30年7月20日(金)、北海道森林管理局は札幌市内各施設で実施された「カルチャーナイト2018」に参画しました。カルチャーナイトとは、公共施設や文化施設等を夜間解放して市民や観光客に地域文化を楽しんでいただく行事です。北海道森林管理局は1階ウッドホールで「おがくず粘土づくり」「木のコースターづくり」「紙でつくる木のタネ飛ばし」「森のしごと漫画展」を実施しました。当日は天気も良く、17時~20時30分までの間に222人もの方にお越し頂き、最初から最後まで各ブース満席で大盛況でした。(技術普及課)

山の日記念

小樽天狗山登山会

平成30年8月4日(土)に山の日記念 小樽天狗山登山会を開催しました。総勢87名という多くの方に参加いただき、「地藏コース」と「山頂森林浴コース」をそれぞれ歩きました。暑すぎず丁度いい季候で、頂上では綺麗な海を眺めることもできて、とても楽しい登山会になりました。



(技術普及課)



わくわく夏休み子ども体験デー

平成30年8月2日(木)、3日(金)の2日間、モエレ沼公園ガラスのピラミッドで「わくわく夏休み子ども体験デー」を開催しました。農林水産業に関する体験や食育を通して、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会となるイベントです。森林管理局、農政事務所、開発局、植物・動物検疫所、農畜産業振興機構、水産研究・教育機構がそれぞれの特色を生かしたブースを出して、参加した子どもたちは楽しみながら多くの経験ができたと思います。2日間で531人の方が来場されました。

(技術普及課)

ピリカまつりでおよこ木工体験

平成30年7月22日(日)、今金町クアプラザをメイン会場として「ピリカまつり」が開催されました。クアプラザに隣接するピリカスキー場が国有林内にあるということもあり、渡島森林管理署では毎年「およこ木工体験」ブースを開いています。設置したブースには親子連れなどで大盛況でした。巣箱づくりでは、金槌を使う作業が多く、難しいかもしれないかと思っていたのですが、上手に釘を打つ子が多く、驚かされました。

(渡島森林管理署)

札幌水源の森づくり 2018

定山溪の森（国有林）は、私たち市民にとって豊かでおいしい水を育む大切な水源の森です。

「札幌水源の森づくり」は、市民のみなさんと一緒に貴重な財産である水源の森を育み次世代へ引継ぐ取り組みです。

参加無料

日時：平成30年8月25日（土）
10時～13時終了予定（雨天決行）

会場：創成川公園・狸二条広場
（札幌市中央区南3条東1丁目）



- ポット苗木を作るコーナー
- ラベンダーの花苗プレゼント（先着100名）
- きぼう（木棒）づくりコーナー
- 木の漢字パズルコーナー
- 「森・水」等のクイズコーナー
- パネル展示

—お問い合わせ先— 石狩地域森林ふれあい推進センター 011-622-5114



北海道命名150年記念 北海道・木育（もくいく）フェスタ2018

第69回北海道植樹祭 ～小さな芽 大きな未来 つまってる～



植樹祭・育樹祭



道民の森 神居尻地区（当別町）での「水源の森づくり」に参加しませんか？



日時：2018年9月9日（日）

10:00～14:00（雨天決行、荒天時中止）

場所：道民の森 神居尻地区（当別町）



10:00～10:25 (受付開始/9:30)	●アトラクション	多目的広場ステージ	
10:30～10:48	●式典		●ミニテント村 (催事・協賛行事)
11:10～12:00	●①植樹（※定員/600名 先着順）	水源の森	多目的広場 (神居尻案内所)
	●②育樹（※定員/200名 先着順）	第2駐車場 隣接地	
13:00～14:00	●森林散策（※定員/100名 先着順）	総合案内所周辺	

この行事に参加を希望される方は、必ず事前の申込みが必要です。詳しくはホームページをご覧ください。 ※木育フェスタ2018で検索

—お問い合わせ先— 技術普及課 011-622-5245

もり
広報 「北の森林 国有林」8月号
発行 北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70
I P 電話 050-3160-6300
電 話 011-622-5213
F A X 011-622-5194
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

行事・イベント情報

「道民森づくりの集い」
日時：9月30日（日曜日）
10時～15時
場所：野幌自然公園
（開拓の村、自然ふれあい交流館）